

# '87CMSCチャレンジカップ、山形が逃げ切りで優勝に輝く!

87年度のCMSCチャレンジカップ、12月は、どのクラブも獲得ポイントがなく、クラブ別ポイントでは山形が他のクラブのチャレンジを振り切り見事優勝した。今年も、昨年同様の方式で新たなスタートを切るチャレンジカップ。新型ミラージュ、ギャランのパワーに負けないハッスルぶりが期待される。



意欲をかき立てるカップと盾



外川会長より表彰を受ける小川選手

## ●クラブ別獲得ポイント



左より島根・杉坂氏、山形・小川氏、青森・鶴ヶ谷氏の各氏

順位	支部	1~5月	6~8月	9~11月	12月	合計
1	山形	125	100	71	0	296
2	青森	60	104	58	0	222
3	島根	71	68	60	0	199
4	帯広	62	40	22	0	124
5	栃木	26	74	9	0	109
6	札幌	0	49	16	0	65
7	岩手	32	0	32	0	64
8	埼玉	10	0	51	0	61
9	福島	38	22	0	0	60
10	岐阜	9	34	1	0	44
11	香川	41	0	0	0	41
12	群馬	11	3	10	0	24
13	仙台	2	0	4	0	6

## ●ラリー部門ドライバー



左より2位館山、1位大西、3位福士の各選手

## ●ラリー部門ナビゲーター



1位の永沢選手(左)と2位の田口選手

## ●スラローム部門



左より2位小野、1位国谷、3位富樫の各選手

## ●レース部門



左より3位加藤、1位蒲原に代り中島、2位小川の各氏

順位	氏名	支部	ポイント
1	大西 康弘	青森	86
2	館山 正嗣	青森	64
2	福士 文秀	青森	64
4	小川日出生	山形	56
5	千田 俊二	札幌	50
6	高橋 光男	福島	42
7	武蔵 秀雄	岩手	36
8	馬場 宏治	岩手	18
9	菅野 茂	山形	12
10	菅野 茂	福島	10

順位	氏名	支部	ポイント
1	永沢 裕之	青森	104
2	田口 雅生	本部	72
3	吉田 東悦	福島	42
4	葛西 一省	青森	24
5	村山 豊	山形	12
6	佐藤 忠宣	福島	10
7	石井 隆夫	青森	6

順位	氏名	支部	ポイント
1	国谷 益雄	島根	79
2	小野 馨	山形	63
3	富樫 昭彦	帯広	56
4	井馬 隆之	帯広	50
5	菅野 茂	山形	49
6	杉坂 啓一	島根	45
7	白井 修	香川	41
7	川俣 豊一	栃木	41
9	蜂谷 重則	山形	35
10	菅原 治樹	山形	33

順位	氏名	支部	ポイント
1	蒲原 芽里	埼玉	42
2	小川日出生	山形	32
3	加藤 元章	本部	26
4	栗田 律雄	岩手	10
5	松本 久雄	栃木	3

## CMSC'88主催イベント

CMSCが主催するイベントスケジュールが決定した。1月の青森をスタートに、10月の帯広まで、全国各地で12戦の開催が予定されている。主催クラブは当然のことCMSC会員の活躍が楽しみである。

月	日	主催	イベント名
1	23、24	青森	●CMSCウインターラリーイン青森('88JMRC東北シリーズ第1戦)
	24	帯広	●第6回CMSC帯広コルト氷上トライアル
4	10	山形	●'88CMSC山形ダートトライアル(県シリーズ第1戦)
5	8	群馬	●'88CMSCトリアルin群馬(県シリーズ第1戦)
	22	香川	●'88CMSCアストロトライアル(四国シリーズ)
6	5	栃木	●'88スリーダイヤモンドトライアル(県シリーズ)
	25、26	帯広	●第4回コルトラリー
8	21	島根	●'88CMSC島根ダートトライアル(日本海チャンピオンシリーズ第6戦)
	21	帯広	●第4回AMC杯CMSCダートトライアル
9	11	岩手	●岩手三菱ダイヤモンドトライアル(県シリーズ第6戦)
	25	香川	●'88CMSCダイヤスタートトライアル
10	30	帯広	●CMSC帯広ダートトライアル

## 121台と、過去最高のエントリーを集め盛大に開催。

### '88道東氷上シリーズ第1戦

### 第6回CMSC帯広コルト氷上トライアル

今年度のトップを切って、1月24日コルト氷上トライアルが、121台と過去最高の出場台数を集め開催された。道東氷上シリーズの第1戦として戦われた今大会は、エントリー数の関係上、360°ターンやパイロン区間を削除し、距離も1.5kmとショートなコースに変更となったが、当日は、快晴、気温真冬日と絶好のコンディションであった。三菱車は計6台のエントリーがあり、FRクラスでは、87CMSCチャレンジカップ3位の富樫選手が4位入賞、チューリップタイヤ部門でも、C-D車両にまじり、ただ1台のB車両のランサーで気をはき、7位と健闘した。また競技前の試走では、チーム員の伊吹VR-4が全開走行をし、熱い視線を浴びていた。(レポート青沼達也)



大会は絶好のコンディション下で行なわれた



FRクラスで4位に入賞した富樫ランサーの華麗な氷上テクニク



疾走する富樫ランサー



試走する甲吹VR-4



転倒しながらも優勝を決めた土肥Z



# CMSCメンバー三菱車で上位入賞続出

## '88東北ラリーシリーズ第1戦

### CMSCウィンターラリーin青森

'88年度東北ラリーシリーズのトップを切って、CMSC青森主催の'88CMSCウィンターラリーin青森が1月23-24日の両日、岩木山麓周辺を中心に開催された。今年は、全国的な暖冬で、ラリー会場附近もスタート直前まで路面の積雪ゼロといった状態。幸いスタート後間もなく恵みの雪があり、ウィンターラリーの面目を保つことが何とか出来るといった具合であった。コースは、SSが5ヶ所、ナビ区間が9区間の約180km。CMSCからは、大ベテラン、福島の菅野茂選手がコルディア4WDで、山形から小川日出生選手がニューカーのギャランVR-4、仙台からも佐藤政一選手がランサーで参加。一方、迎え打つ地元青森勢は、全日本ラリーへ出場している大西康弘選手の兄、大

西弘晃選手がギャランVR-4、栢沢宏之、金田一選手がコルディア4WDと、豪華メンバーが出場。第一ステージでは、山形の小川選手がトップで上り、第2ステージ残り3つのSSを走り切ればVR-4の初優勝といったシーンも。結果は、惜しくもCクラス3位であったが、大西選手、栢沢選手などの見事な走りに加え、VR-4のセッティング、練習量の少なさを考えると、今後の活躍が大いに期待できる感触が得られた、スタートとしては幸先の良い第一戦であった。

(CMSC青森 鶴ヶ谷慶市)

順位	車両名	ドライバー	ナビゲーター	CMSC
1位	ファミリア4WD	立花 志謹	北向 寿	
2位	ファミリア4WD	山下 公男	藤田 健治	
3位	ギャラン4WD	小川日出生	小田切順之	山形
4位	コルディア4WD	菅野 茂	佐藤 忠宣	福島
5位	ブルーバード4WD	土館 正博	佐藤 広司	
6位	コルディア4WD	高橋 幸輝	石田 康夫	(ナビ青森)
7位	ギャラン4WD	大西 弘晃	丸山 尚人	青森
10位	ギャラン4WD	加藤 正実	藤田 裕一	



トップとわずかの差の3位となった小川選手のギャランVR-4



小川選手とナビの小田切選手。



入賞を喜ぶ小川選手とチームメイト



大会を主催したCMSC青森のメンバーによる記念撮影。



4位に入賞した菅野コルディア4WD



CMSC青森の石田選手がナビの高橋コルディア



7位となった大西(兄)ギャラン4WD

# ベテラン福島の菅野選手、第2戦もコルディアで4位に入賞。

## '88東北ラリーシリーズ第2戦

### 第8回田沢湖高原ウィンターラリー

青森での第1戦に続いて、'88東北ラリーシリーズの第2戦、第8回田沢湖高原ウィンターラリーが、2月13-14の2日間、秋田県の田沢湖をスタートとする山岳コース240kmで戦われた。エントリー台数はフルエントリーに近い56台が参加。コースは全コースナビゲーター区間で、SSは最後の1ヶ所(1km)のみの設定。三菱車はCクラスの参加車両の半分以上を占めたが、ギャランの参加が少なく、コルディアが中心。青森の館山選手がコルディアで2位に喰い込んだ。



見事な走りでも2位となったCMSC青森の館山コルディア



ドライバー館山選手とナビの葛西選手

順位	車両名	ドライバー	ナビゲーター	CMSC
1位	ファミリア	横山 清一	早坂 喜昭	
2位	コルディア	館山 正嗣	葛西 一省	青森
3位	ファミリア	立花 志謹	北向 寿	
4位	コルディア	菅野 茂	佐藤 忠宣	福島
7位	ギャラン	小川日出生	多比羅フミオ	山形
9位	コルディア	高橋 幸輝	石田 康夫	(ナビ青森)
11位	コルディア	金田一直志	一戸 剛	山形



SSをスタートする菅野コルディア



菅野コルディアはCクラス4位に入賞



小川ギャランはSSで痛風のコースミスで7位

# CMSC青森の永沢裕之選手ナビ部門でシリーズ1位に。

## '87JMRC東北シリーズ戦

'87年度のJMRC東北シリーズ戦(レース、ラリー、ダートラ)のシリーズ優勝者の表彰式が、1月31日仙台にて開催された。当初7戦の予定が全4戦で終了となったラリーチャンピオンシリーズ戦では、Bクラス(1301cc以上)で、CMSC青森の永沢裕之選手(コルディア4WD)が、ナビゲーター部門の1位を見事獲得。またドライバー部門でも最終の第4戦で優勝した、CMSC青森の福士文秀選手(コルディア4WD)

がシリーズ3位、CMSC山形の小川日出生選手(コルディア4WD)が4位となった。'86年度のドライバー部門のチャンピオンCMSC青森の館山正嗣選手は、第3戦で優勝したものの資格有効2戦以上の規定により、残念ながらポイント対象外となってしまった。

'88シリーズはすでに2戦が終了、今シーズンより従来のジュニアシリーズとチャンピオンシリーズが統合され、クラス区分が全日本ラリー同様A(1000cc)、B(1001-1600cc)、C(1601cc-)の3クラス分けにより戦われることになった。



小川選手



高橋選手



福士選手(右)



永沢選手